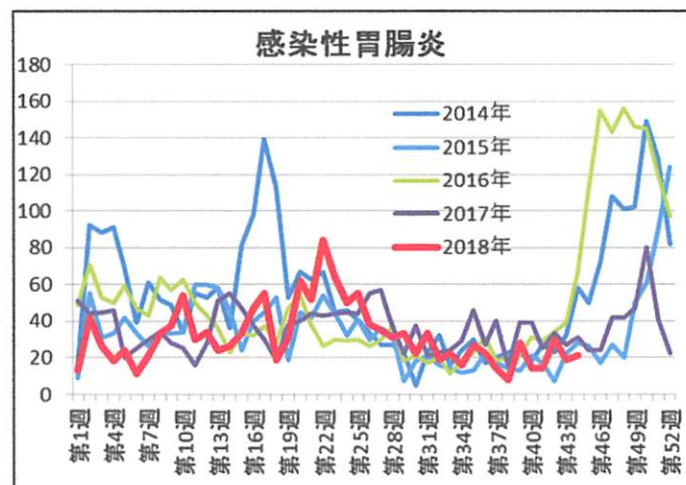
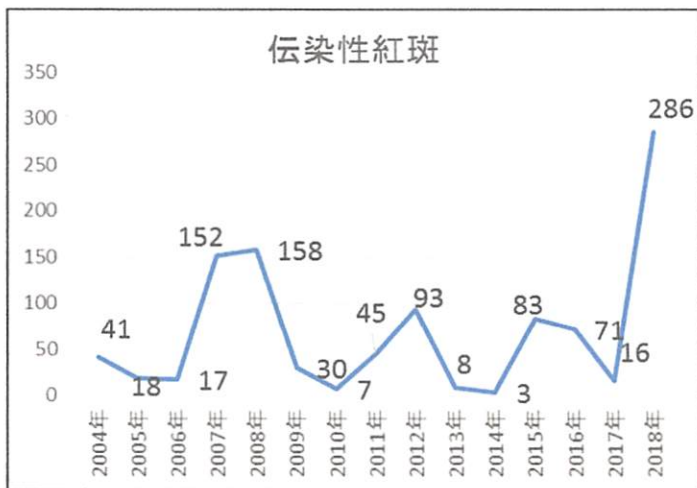


週間感染症情報

2018年44週 2018年10月29日より2018年11月4日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	(2)
百日咳	
溶連菌感染症	6
手足口病	2
ヘルパンギーナ	3
伝染性紅斑	9
感染性胃腸炎	21
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	4
マイコプラズマ感染症	1
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	
ヒトメタニューモウイルス	

感染症の報告は少ないです。喘鳴・喘息の児が多いです。インフルエンザの報告はありませんでした。
 私が園医の保育園での定期健診でも、年少児で感冒の園児がいましたが、発熱は軽度で休むことは少ないそうです。
 ムンプスは抗体検査を提出しています。周囲に流行はなく、可能性は低いと思います。
 溶連菌感染症は、常盤小、清音小、庄内小、など小学生の症例が多かったです。
 伝染性紅斑は、山を越えたようですが、流行のなかった施設では今後流行があるかも知れません。
 下のグラフの様に、44週までに286例の報告があり、10年ぶりの大きな流行になりました。保護者や先生方のり患例も
 ありますが、受診されることがなかったので統計には入れていません。成人では、前駆期に発熱・頭痛・関節痛が強く
 入院する例もあります。前もってお話しておく、安心して自宅で安静にしていたという保護者もいらっしゃいました。
 感染性胃腸炎は、嘔吐を主とするノロウイルスによると思われるウイルス性胃腸炎を見かけるようになりました。
 下のグラフの様に、これから年末にかけて流行します。昨年は、インフルエンザの流行が12月より始まったため、
 感染性胃腸炎の流行は小さかったです。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)